

モロッコ旅行記



mastercooey

はじめに

まったくの思いつきで決めたモロッコ一人旅
準備したのはこの3冊。

よく考えたら、やっぱり移動など細かなところに不安が残り
急遽、成田空港で「王道」の地球の歩き方を追加。

「aruco」はなかなかピンポイントで良い情報抑えられているんですが
細かな情報は足りない感じ。結論としては追加購入しておいて良かった！



今回のモロッコ旅行の出発点はパリ。

パリ～カサブランカ～マラケシュ～ワルザザードというルートの手配。

オートアトラスを越え、砂漠地方まで行きましたが、やっぱり冬。寒かった！！



期待通りにかわいいものいっぱい！

タイル装飾、照明、インテリア雑貨、そのへんのモノ・・・。

想像ほど物価が安くないモロッコですが、お買い得品いっぱいでした。

40歳越えての一人旅でしたが、なかなか楽しく耐えました(笑)

旅日記はじまります！



パリ～カサブランカの往復航空券を事前にネットで購入していたわけです。パリのお友達に「なぜ？カサブランカ？？」とつつこまれ・・・。それもそのはず。"easyjet"や"jet4you"などの格安航空会社がパリ～マラケシュも飛ばしているわけです。あらら・・・。もっと調べたらよかったわね。カサブランカにたいして用事なかったのに。でも、行ってみたいじゃありませんか！あのカサブランカです。ボガードですよ。これから旅程を考える方は、ぜひこれらの格安航空会社のフライトもチェック！今の時期最安値だとパリ～マラケシュは160ユーロくらいです。う～ん安いね。



Time	Destination	Flight	Gate	Check-in	Zone
07:00	GENEVE	AF 1942	LX 4601	3	
07:00	ROME-FIORICINO	AZ 357	AF 9030	3	
07:15	MADRID	AF 1000	CZ 7021	3	
07:15	ROME-FIORICINO	AF 1204	DL 8504	3	
07:15	MILAN-LINATE	AF 1212	DL 8530	3	
07:15	AMSTERDAM	AF 1240	KL 2002	3	
07:25	CASABLANCA	AF 1896	KL 2114	3	
07:30	LYON	AF 1594	KL 2180	3	
07:30	MARSEILLE	AF 7648	CZ 7040	3	



早朝、小雨の中タクシーで空港へ。7:15AM発のフライトだったから空港はガラガラ。通常通り2時間前目指して行っただけ、カウンターや出国ゲートなどは6時から！・・・2時間前じゃなくていいじゃん出国ゲート過ぎても、もちろんお店はクローズ。コーヒーは自販機で飲めますけど。1件カフェが開いていましたね。機内で朝食～。

あっという間にカサブランカです。初のアフリカ大陸～！到着してすぐに外へ。はい。スモーカーなもんで。どこでも吸えるかんじでなかなか気分よし。が・・・電車に乗るため空港内に戻ろうとしたらめっちゃ怒られ・・・ちょ～～～～～遠くにある出発入口まで行かねば入れん。あゝ・・・。手荷物スキャンをして再入場。たっって、このスキャンたぶん見てない・・・です。通すまでに時間かかるけど、引っかかっている人ゼロ。儀式のようです。英語・フランス語・アラビア語の表示が出ているので結構簡単に電車の駅を発見。ふふふ。大好きな電車です。テンション上がります。1等席を購入！



一時間に1本みたい。なんと時間通りに出発しました。ガラガラ。1等と2等、荷物置くスペースも一緒だし、シートのふかふか度が違うだけ。夏は混むのかな？1等で指定席の方が安心だけどこの時期は2等で良さそうでした。車両に何等かきちゃんと書いてあります。1等は先頭の1両のみ。カサブランカ市街方面のカサボヤジャー駅へ向かいます。1等60DH、2等で40DH（今はだいたい1DH=10円でした）。



1等



2等

空港からカサボヤジャー駅までいくつか停車駅があります。車内のアナウンスは微妙です。ほとんどアナウンスはないのですが、聞こえてきても「ぎゃう・・（プツプツ）・・（ジージー）・・ゴッ・・ぶっ・・」といった感じで言葉がわかったとしても理解不能。同じ車両に乗り合わせた他3名のみなさんも結局2等車へ行き、地元っぽい人に聞き込み。終点じゃないからね～カサ・ボヤジャー。聞き込みのおかげで、なんとか無事にカサ・ボヤジャー駅で下車！全員でクイズを解いた気分。

降りてみたら電光掲示板も理解不能・・・。事前のプランでは、マラケシュ行き電車の時間までカサブランカの街をぶらぶら。ハッサン2世モスクや、国連広場を觀たりね。さて、マラケシュ行きの電車までの2時間と少し、うまいことカサブランカを堪能できるか？



街中へ出る前に、まずはカサ・ボヤジャー駅からマラケシュ行きの切符を購入。駅構内のチケット売り場は英語も通じるし、カード決済も可能。便利！またまた1等車！さすがに長いからね〜。この乗り継ぎの合間に観光を目論んでいましたが、駅を出たとたん、ものすごいタクシーの客引き合戦。一応金額を聞いてみますが、急に言葉がわからないフリをされたりしてぜんぜん答えてくれません。こりゃ危険。早速ボラれる予感。



チケット売り場



駅前

ガイドブックのガイディングを信じて、大通りまで出て、バスで移動しようと試みますが道がなんか・・・ややこしい・・・。広い道だからといって、メジャーな通りという訳でもなさそうで、地図的にまっすぐ書いてあってもかなりのくねくねだったりします。うむ〜・・・。駅の前の広場からバスに乗れると書いてありますが、駅の前に広場はなく。ちょっと歩いてみてもなく・・・。通りの名前は、角のビルに表示してあったりしますが、あらら・・・思いつきアラビア語のみ。とにかく、もう一度駅には戻れるように、後ろを振り向きながらおかしな看板を覚えて歩きます。



なんとなく大通りに到着。しかし・・・バス停がわからないのよ。とくに表示看板とかがない。しばらく大通りにたたずみ、観察、観察、観察。たたずんでいる人は結構いるので、がんばって溶け込みます。メジャーな国連広場にたどり着けるはずの2番か3番のバスを探します。バスが通ったら、どのへんに停まるか観察です。

ん〜番号によっていろんなとこに停まる・・・特に表示のないところに突然停まり、なんとなく待っていた風の人たちが乗り込みます。やっとのことで2番と3番のバスの停まる場所が確認できたけれど、さて、どちら向きに乗れば国連広場??? 指差し会話帳を取り出し、さっそくバス待ち風の人に聞き取り開始。しかし・・・なぜか・・・「ここ」という人と「あっち」という人にわかれます・・・こりゃどっちに乗っても辿り着けるのか??



おばさんたちと話していたのに、助手席に1名お客が乗ったタクシーが通りかかると、バスをまっていた(らしい)そのおばさん4名が突然タクシーを留め、運転手になんか言って、後部座席に4名乗っていなくなる・・・。！ふんふん！こりゃ行けそうだ！バスかタクシー、どっちか来たほうに乗ろうとしてるらしいのだ。よし！おばさん探し！！道の反対側におばさん発見！いそいで渡り、そばで待機。目論みどおりタクシーを留めてくれたのでなんとなく後にくっついて行き、思い切って最終目的地の「ハッサン モスク」と言ってみます。おばさんと運転手がうなずいたので一緒に乗り込みます。すでにお客が乗っていたので、車内には7人・・・。定員とかはなさそうです。子供は普通に私の膝に座ってます・・・。なんかあちこち寄ってみんなが降りて、とうとう私ひとり。しかし！ちゃんと見えてきたぞモスク！！待ってろモスク〜〜！！

ちゃんとメーター倒していたので、メーター通り払います。たぶん乗ったところから引き算していいんだろうけど、とりあえずわかんないので全額払います。16 DH。安！！運転手おじさん、なんか言ってます・・・。。どうも待っててくれる様子。道でバス観察しすぎてもう時間もないし、こりゃ好都合。両手で10、10、10！！と示し(10分のつもり)、待っててと言ってみます。今思えば、指差し会話帳持って、なぜ日本語で叫んだの？わたし。とりあえずタクシーを降りてモスクへGO！！待っててくれるのかしら・・・タクシー。



たどり着けたぞハッサン2世モスク！あまりの大きさに・・・言葉を失います。モロッコ最大モスクなのはもちろんでしょうけど、世界で5番目って。他はどれだけ大きいのでしょうか？海に隣接しています。海側から見ると、海に浮いているように見えるそうです。しかし、モスクの前の広場も尋常じゃない広さ。私、結構時間がないのであります。電車の予定が・・・。道路から、広場のど真ん中を横切りモスクへ向かいますが、遠い。広場の真ん中あたりから撮らないと、モスクも大きすぎて写真に納まりきりません。ガイドブックによると1日4回に限って中を拝観できるようですが、入り口らしいところにそのような表示は見当たらなかった。どこかに観光用の入り口があるのかも。私が着いたときはたまたま入り口らしい大きな扉が開いていたので、ほんの少し中を覗いて写真を撮る事ができましたが、明かりがついていなかったのでよく見えず



信者以外が入って見る事ができるモスクはかなり希少だし、ぜひ、このモスクはもう一度ちゃんと時間を取って見にきたいな～。海のほうからも見たい！本当にすばらしい装飾。あちらこちらほんとにステキ。壁のクリーム色というか薄茶というのがすごくいい。真っ白より断然落ち着きます。





信者以外が入って見る事ができるモスクはかなり希少だし、ぜひ、このモスクはもう一度ちゃんと時間を取って見にきたいな～。海のほうからも見たい！本当にすばらしい装飾。あちらこちらほんとにステキ。壁のクリーム色というか薄茶というかがすごくいい。真っ白より断然落ち着きます。

じっくり見回り、写真撮ってたら、「ぎゃ！」電車まで30分！！大通りに走って戻って見たら・・・はい、さっきのタクシーいません。だよね・・・。明らかに観光客からぼったくろうとしているタクシーが2台、停まっているだけです。・・・時間ないのよ。1台目。あっさりとメーターを倒すことを拒否されます。2台目。なんとなく拒否されます。私、負けずに粘ります。発進されないようにドア越しに交渉。交渉ったって、メーターを指差し、叫ぶのみです「倒せ！！」

思いは通じました・・・ジェスチャー万歳。メーター倒したおかげで、あちこち寄り道。いっぱい客を拾っては落としていきます。時間が・・・あゝ～～。

ふふふ。間に合いましたよ。まあ、ぎりぎりでしたがね。

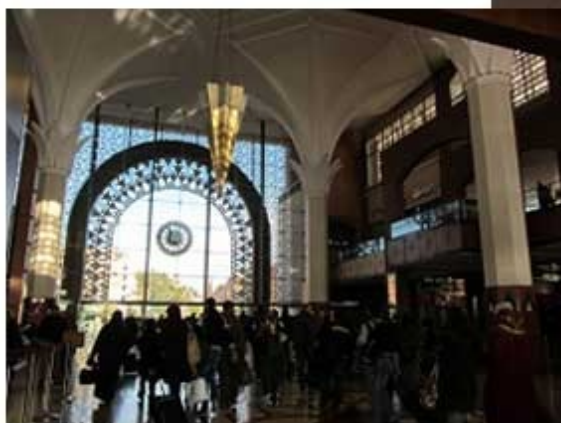




座席はふかふか。6人がけのボックスです。1等でもんね〜♪頭上の荷物入れはかなり幅がありスーツケースも問題なく置けます。待ってました、車内販売！サンドイッチとコーヒー。サンドイッチまずかったけど。パッサパサ。窓ガラスがめっちゃ汚くて写真が撮れません。いい天気なんだけどね〜。途中、すわり心地よくて居眠りしたりして、あっという間にマラケシュ到着。



マラケシュの駅がすごい立派でびっくり。イマドキ当然なんだろうけど、駅の中にはマックやセブンイレブン、KFCがありました。郵便局もここに 있습니다。小さな売店もあるので、絵葉書買って送りたい便利です。さて。ネット予約したリヤドの住所を握り締め、移動！！ あ〜。またバス乗り場とタクシーとの戦いだ・・・





パリのホテルを4時AMに出発したんだから・・・12時間！！今思えば結構距離的にも移動してるな～。またまた駅前にはタクシーの客引き・・・あ～もう。疲れるぞ！聞こえないフリ、アラビア語も英語もわからないフリで歩きます。またまたガイドブック情報を頼りにバス停探し。しかし！！

マラケシュのバス停はわかりやすかったのだ！感激。このときはほんとに感激～。乗る方向も確認。順調、順調。が・・・・・・カンジンのバスが来ない。ほんとに来ない。ほぼ満員のタクシーが通りかかったので、がんばって停めました。リヤドの住所を見せるとうなずかれたので安心して乗車。メーターも動いています。

悪夢はここから・・・・。わかってなかった私がアホなのですが、「住所」はストリートの名前ではなく、どうも「エリア」の名前のようです。示した住所周辺には連れて行ってくれましたが、目的のリヤドは「このあたりのどこか」という事で・・・タクシーはお仕事ありますから、「ここだ！」的なジェスチャーをされ強制的に下車を促されます。

はあ～。なんじゃこは。どこなんだ？？ほんとにエリアが合っているのかどうかさえ判別不能。地図がないも同然。あつという間に（しかしダラダラと）いろいろな人が集まります。仕方なく、リヤドの住所を見せていると一人が知っていると言語で回答！！。知っているといったローカルは、新たにタクシーを止めドライバーに説明。あら。意外にも親切？説明しちゃってくれてるの？？タクシーが出るとなったら、なぜか彼は助手席に乗ります。英語が通じるようなので・・・

「ありがとう。でも君はどこ行くの？」と聞いてみます。
「そのリヤドの近く」との回答。へえ～～。たまたまかいな？胡散臭い。
タクシーはくねくねと、ほっそい街中を走ります。車や歩行者、馬車やバイクなどとすれ違うので、いらぬスリル満点です。

目的地らしい場所でタクシー下車。タクシーには5 DHといわれとりあえず支払い。まあ、納得の金額ですからね。でもまだ、通りの名前さえどこにも見当たらないし、ほんとにここが目当ての場所かもわからず。かなり ふ・あ・ん・・・・。彼がこっちのほうだよというのでとりあえず付いて行きます。かなり不安になっていた私は「本当にこのリヤドに行くのか？」とシツコク何度も確認。細い道、だれかの家の前、おかしい広場を抜け・・・・。不安は募るばかり。

しかし突然、そのリヤドは現れます。「ココ！」 あら確かにここだわ！
すぐにリヤドの人も出てきてくれて一件落着。たどり着けた～～～～～！！
私も手のひら返したようにちょ～笑顔で「ありがとう！」を連発。とりあえずリヤドに入ります。リヤドのスタッフが入り口で、案内してくれた彼と何やら話して戻ってきます。

「お部屋案内しますが、まず、彼がガイド代を払ってくれと言っています。」
・・・・だよね。要求は20 DH。もう、疲れきっていたので交渉するのも面倒で。スタッフに彼の顔は2度と見たくないので渡してきてほしいと頼みお金を渡します。
あ～～～ホッとしてよく見てみると、なんと素敵なりヤド！想像以上にステキ。
案内されたお部屋もステキだし！あ～がんばった、私。とりあえず茶でも飲もう！



モロッコ最初の宿は、マラケシュのRiad Maison Rouge。 <http://www.riad-maison-rouge.com/en/riad-maison-rouge-marrakech>
ネットで探して、勘で選んだ宿。の割にはステキ！



時刻は17:30。ホント長旅～。パリを出てから13時間オーバーです。リヤドの中をうろうろ。スタッフ以外誰もいない・・・。
お客は私一人の様子。貸切と思っておきましょうね。お部屋のもろもろをチェックし、とりあえずまったり。屋上で夕日なんか
見ちゃったりして～。さて。いよいよ腹も減ってきた。有名なフナ広場行って見ますか！・・・迷子が怖くて・・・なんて言っ
てないで、さ！出かけますぞ！！はい、ぜ～んぶ独り言です。一人旅ですから。



スタッフにフナ広場への行き方を聞いてみます。

ちゃんとした手書きの地図を作っているのでどうぞ！とのご案内。

一応マラケシュ全体地図もいただいて、とりあえずGO！。

はて・・・この地図で・・・どうなんだ。不安です。

とにかく、どんな結果になろうと、また宿に戻ることを大事に、
周りを記憶しながら、めっちゃ振り返って確認しながら歩きます。



どこにでもありそうだけど・・・
この青い扉のところで曲がる。



どこにでもありそうだけど・・・
このコーラの看板で曲がる



何時まで開いてるかわからないが・・・
この電話屋で曲がる

どんどん暗くなっていきます。うむ～。やっぱり広場にたどり着けません。恐る恐る、すれ違う人に道を尋ねますが、
「こっちにいて右」とか「左」とか……。いくつ目で曲がるとかの説明は一度もなし。曲がって、いつ曲がればいいのかさ！

本格的に暗くなり、どうもモスクに着いてしまったようです。街全体地図からしても、明らかに方向がおかしい・・・。「僕は絶対にお金を取らないから」という学生が声をかけてきます。もう、信じるしかありません。近くまで案内するとの事。
 ・・・・ついていきます。彼は、本当にお金の要求などせず、広場が見える大通りまで連れて行ってくれたんです。でもね・・・途中で「おじさんの店」といってスパイスの店に連れて行かれ・・・。さんざんおじさんにセールスされます。しかし、値段がかなりローカルプライス。逆にここで！と、ローズクリームなどを購入。
 ま、結果オーライです。



やっとこさ広場に到着。すごい人・人・人！別に休日でも何でもないけどすごい人。すごい屋台の数と、大道芸の人たち。熱気に吸い寄せられ、ちょっといろんな不安から開放されぶらぶら。え！ジュース釣ってるし！！あまりの光景に写真をパチッ。撮って1秒でおじさん登場。

「はいはいはい。お金ちょうだいな」。

おいおじさん！衣装着て楽器持って、ジュース釣りとは関係ない感じじゃん！なんなの！！向こうも見つけた獲物は離しません。

かなりしつこい。しかたなく、「これしかないぞ！」と2DH渡す。

こんな金額で許されるのかも不明。あら〜おじさん納得したみたい。

だって、急に笑顔で自分も撮れと大アピール。わけわからん・・・。

しかたなく撮ったよオッサン！

しかも勝手に私に自分の帽子をかぶせ、むりやり楽器をおしつけ、近くにいたあんちゃんに私のカメラを勝手に渡して2ショット撮影。

おいっ！望んでないぞ〜〜そういうの！！

すっかり意気消沈・・・。楽しい写真も撮れんのか・・・。

広場をぐるっと見渡すと、たか〜いところにカフェ発見。人もいなさそう。

一服してコーヒー飲んで気力挽回。しかも広場がよく見える！街もよくみえるぞ！

ここで、地図を引っ張り出し方向や位置の確認。ざっくり掴めてきたぞフナ広場！！



気を取り直して屋台へ突進。
モロッコ名物のスープや、
わけのわからん小皿を食べタ食終了。



そしていよいよ、ずっとやりたかった事に挑戦！



ぼられたのかどうかはわかりませんが、私的には納得の価格をお支払い。でも1時間乾燥させなければならず・・・なんも出来ん・・・手を乾かしながら、ぶらぶらと宿に戻ります。

決めておいた勝手な目印を頼りに、宿を目指します。途中、日本語で声をかけられ、疲れていたしひと休み。かなりローカルがいっぱいのお肉屋さん。ソーセージ焼いてて良いニオイ。指差し会話帳つかって楽しい会話。そして焼いてたソーセージでサンドイッチを作ってもらいお夜食購入。とぼとぼと暗い道を帰ります。



たどり着けたよ！奇跡だよ！！



この手、どうしましょ・・・。
タオルでぐるぐる巻きにして保護。そして就寝。
あ～長かった一日。明日はどうなることやら！



モロッコ2日目@マラケシュです！

「朝ごはん上でどうぞ～」なんて言われ行ってみると、ステキすぎます！嬉気分。
おばちゃん感激です。

明日バスに乗ってワルザザードへ行くとリヤドの
スタッフに話すと、今日中にバスの乗車券は買った
ほうがイイよ！とのこと。混むのかしら？

街に出るつもりでしたしね。買いに行きましょ。

今日は迷っても大丈夫。まだまだ時間がある。

●マラケシュの駅へ行き、バスのチケット購入。

●新市街のレストランで食事。

●ハمامorスパ。

●街中をぶらぶら。

以上が今日の予定です。ワルザザードへ移動するし、荷物増やしたくない。買い物はやめておきましょ。さあでかけるべ。



のんびり歩いてみると気になる所がたくさん。飽きません。さまざまなドアノブ。いいのが見つければ買って帰りたい・・・



クイズ！この壁画看板、何をあらわしているでしょお～～～か？



答えは「学校」と「ハمام（公衆浴場）」。言われれば納得ですね。

地図上では近いと思われるスパのLes Bains de Marrakechへ。

<http://www.lesbainsdemarrakech.com/>

細い道、道かどうかあやしい隙間、商店街(?)をダラダラ進み普通レベルに迷いながらも、無事に到着！夕方のハمام&マッサージコースを予約します。



スパ Les Bains de Marrakech



さあ、マラケシュ駅へ！次はバス予約しなくちゃ。
タクシー停めるのも面倒だし、途中寄りたいところもあるし、歩きで向かいます。
あら、昨夜迷ってたどり着いたモスクに着いた。
昼間見たらとってもステキ。



お目当ての伝統工芸館。ここは製品ごとにお店があって、
作っている工程もみられるし、販売している製品は適正価格だし
値札がついているものが多い。

どのお店でも、尋ねれば各地方の特色なんかも丁寧に教えてもらえます。おススメです！



結構ブラブラしておなかすきました。家族でマラケシュを訪れたことがあるというパリの友人に超～ススメられたレストランへ！新市街を見ながら徒歩移動～。
ちょっと奥まわって判りづらかったけど、看板あったし辿り着けました。
レストラン「アル・ファシア」。ガイドブックにも載ってる有名店でした。
ランチだけでガッツリいきました。お目当てのタジンとモロカンサラダ！あ～～満足！！



アル・ファシア 入口

満足ランチ後、排気ガスと闘いながら歩いて駅までウォーク。道中カワイイ車を見つけたり。
だいたい地図の見方もわかってきて、順調にマラケシュ駅へウォーク成功。
マラケシュ駅すぐ裏にあるスープラトゥールバス会社に着いてみると「ワルザザードは他の会社だ」と・・・
あら、そうなの。
この会社のバス、とってもキレイだったんだけど・・・
市街地図を頼りに、もうひとつの「CTM/バス会社」へ向かいます。急に寂しいエリアに突入。すると・・・。
なぜか・・・羊が・・・すごい数・・・駅から数分・・・まだ街ですけど？！？！



写真撮っちゃったよ。だって珍しいじゃないの。
すると棒持ったおじさんすつ飛んできた！200%アラビア語ですが、金払え！と言っている様子。うん、間違いない。
死に物狂いで走りました・・・逃げろ！！

モロッコ旅行記 Day-2-01, Day-2-02

工事現場の先に、ひっそりとありましたよバス会社。ものすごく無愛想なおばさんから、チケットをゲット。
朝と夕方の2本しかない。7:30のバスを80DHでゲット。朝早いな・・・。



なかなか今日は順調、慣れてきた？ ならば市民の足にチャレンジ！ローカルバスでスパへ向かいますか。

モロッコ旅行記 Day-2-02

明日の移動に備え、長距離バスチケットも無事にGET。
気分よく、いよいよ市民の足、ローカルバスにトライだ！
到着時に一度はバス待ちトライしたマラケシュ駅前のバス
停でリベンジ。こんどこそ来てくれ。
何台か停まるタクシーを、辛抱強く無視。
バスきた~~~~~！そして乗り込み成功！！
料金はバスに乗るときに払います。



ここでは前扉乗りで前払いでした。旧市街の、フナ広場そばまでバス移動♪念願のバスです。領収書をくれたことにびっくり。

とても順調に移動してしまい、スパの予約時間までまだ1時間くらいある。
とりあえずコーヒー&一服。昨夜、怯え・迷いながらたどり着いたフナ広場ですが、
簡単に来れたよ〜成長！
この2日間で、路地とかでカメラ構えて叱られることがよくあって、写真撮ることに
とってもナーバスになってました。小さいお祈りの場所があるからダメ！とか真剣に
怒られるので大反省。コーヒーブレイク中も、カフェの前にいたCD売りのお兄さんを
撮ろうと思ったんだけど・・・なんか隠し撮りみたいになっっちゃってる・・・。
フナ広場から、スパのある「アグノア門」の方向へぶらぶら。大好きな観察タイム。
地元の人がたくさん、小さなスークへ入ったりして。お肉屋と生活雑貨屋の間に、
へんな皮ばかり釣ってある店が。何に使うのやら。



そろそろスパ予約の時間。「アグノア門」を目指します。
このスパは、門の内側すぐ脇にあるのでわかりやすい。



しかし・・・時代だね。とにかくパラボラだらけ

スパの中はとっても落ち着く雰囲気。かすかにいいニオイがします。フランス語でしゃべりまくっている4人組みのおばちゃんたちといっしょでした。
まずは待望のハمام。街中のローカル・ハمامとはだいぶ違ってます。ロッカールームでお着替え。鍵付ロッカーだしとってもキレイ。パンツ一枚になり、配られるバスローブを着ます。ポケットに鍵と着替え用のパンツを入れます。ハمامは日本のサウナよりちょっと温度が低めで、かなり湿気が高い。2人用になっていて、今回私は一人で一部屋占有。20分ほどハمامのベットでうだうだ。汗だくです。スタッフのお姉さんが入ってきて、全身をお湯で流してくれます。そして、いわゆる韓国風アカスリ開始。全身（顔まで！）パッチリアカスリされます。終わったら、ざっと流してまたハمام内で休憩。20分くらいかな。出る前に全身シャンプー。髪の毛も洗って、さっぱり！ココを出るときに、使ったアカスリタオルをお土産としてくれました。バスローブで移動。途中、プールエリアなんかを通りながら、リラックスルームへ。まるで迷路。ひとりではとても移動できません。お姉さんについていきます。
ベットでごろごろしていると、マッサージに呼ばれます。マッサージは男女どちらの施術師が良いか事前に決めることができます。私は女性に頼みました。（過去の経験から）女性のほうが遠慮なく強めにやってくれる！たっぷり1時間、オイルマッサージ。最高です。終わったらまたまたリラックスルームへ。ミントティーとお菓子が出ます。ステキな中庭を眺めながらまったり。パンパンになっていた足も軽い！明日からの砂漠への旅に準備万端です。
マッサージの時のオイルが気になる人は、最後にロッカールームのシャワーを使うことも出来ます。いや～のんびりした。リフレッシュ！このスパ、HP見てもらえばわかりますが、広くて落ち着いているし、照明かなりステキ！スタッフ全員英語もフランス語も通じて、その割には料金がかなりリーズナブル。他のおしゃれスパとはかなり価格に差があります。ぜひお試しを。「Les Bains de Marrakech」 <http://www.lesbainsdemarrakech.com/>



ちなみに、ローカル・ハمامは指差し会話帳のイラストによるとこんな手順のようです。今回はトライできなかったのが残念



モロッコ旅行記 Day-2-02, Day-3-01

外はすっかり暗くなってる。勝手な道しるべをたよりに、夜道をトボトボ帰ります。でも足は軽いぞ！
しかし、夜遅くまで馬車がたくさん通る。バイクより多い。
またおじさんの処に寄って、ソーセージサンドをゲット。頼んでないけど、焼きチキンもご馳走になっちゃった。
今日は奥さんもいて、またまた指差しで会話が花が咲きます。ハマムの絵で盛り上がります。
お昼たくさん食べたからこれで夕食は十分。おじさん、ごちそうさま！



いよいよ明日は4時間のバス旅。オートアトラスを越えて砂漠エリアを目指します。
リヤドのスタッフに、翌朝7時のCTMバスターミナルまでのタクシーを予約して就寝。そして爆睡！

モロッコ旅行記 Day-3-01

やっと慣れてきたマラケシュともサヨナラ。予約していたタクシーもちゃんと来た！CTMバスステーションまで送ってもらいます。
ステーションは真っ暗・・・でもお客さんはすでに何人かちらほら。駅右手奥に待合室、左手奥にはレストランがあります。
無料でWi-Fi飛んでる・・・スゴイ。コーヒーを飲みながらバスを待ちます。だんだんお客が増えるけど、こんなに乗るのかな？



時間になってもぜんぜん来ないよ、バス。
約30分遅れで1台のバスが待合室の前に停まりました。急に人が動き出します。
一応私も行ってみますが、表示の行き先が
違う。む～。もう1台来た。
これも行き先違う・・・。



乗ってきたお客さんが降りて、待合室にいた
何人かは乗り込み始めます。心配になってきて、念のため行き先を聞くと、反対に
「お前はどこに行くんだ」と怒られる。「ワルザザード」というと、「早く乗れ」と
また怒られる！遅れてきておいて急かすんかい！しかも、行き先表示が違うのに？？
そうか。ワルザザードは経由地なのね。自分でなんとか理解しました。
とりあえず指定の座席へ。乗る前にちゃんとチケット確認されます。中は意外とキレイ。
満員ですが、これなら4時間くらい問題なさそう。座席の上の棚に荷物を置けますが、
ちゃんと預かり荷物エリアもあります。みんな大きな荷物を積み込んでいました。



隣は7〜8歳の男の子。なんと一人旅！親戚のところへ行くとの事。
ご両親がバスの中まで乗ってきていて、何度もチューをして息子に
話しかけています。お父さんとお母さんから、「息子をよろしく」
的ジェスチャーと笑顔をいただきます。

はいはい。まかせてくださいな！指差し使って会話です。

いよいよ出発。ほんとに満員。

窓もまあまあキレイで、車窓写真は撮れそうな感じ。

雪山越えるしね、楽しみ！

なんて思っていたのもつかの間・・・悪夢が始まります。



隣りの坊やに異変が始まります。車酔いです・・・まだ1時間経ってませんけど・・・。

突然嘔吐が始まります（読者の方、気分を害したらごめんなさい！）。しかし彼は冷静に、勢いよくカバンを開け、
タオルとビニール袋を取り出します。慣れてる・・・。しかも持参のビニールの数がはんばない！

ご両親に約束しました。ワタシ・トモダチです！！早速ごみ処理などをヘルプして、持参していたのど飴を与えます。

100%ジェスチャーで「下を向くな！！遠くを見るのだ！！！」と訴えます。

指差し使ったらもっと具合悪くなりそう。下を向かせて字を読ませるわけにはいきません。

私はまったく大丈夫。つられる気配もなく一安心。しかし・・・このままあと数時間か・・・と心折れそうになっていると、
更なる悪夢開始。あちこちから嘔吐の・・・ノイズが・・・。

えっ！電車がないところに住んでらっしゃるみなさん、車に弱いのか？？

大変な衝撃です。出発して2時間経ったころには、車内の7割は車酔い状態。ウソでしょ・・・。

バスがそこそこちゃんとしすぎていて、暖房が入っちゃってるわけですよ。なので窓も開かない・・・。

窓はどんどん曇っていきます。まったく車窓も見えず。ひたすら嘔吐の嵐です。

嘔吐を繰り返す隣りの坊やの面倒を時々見ながらも、「オシャレ用」に持参したお気に入りのスカーフを
顔全体にぐるぐる巻きつけ、ニオイ・音・視界をブロ〜〜ック！オシャレどころじゃありません。

女性はみんな頭に布巻いてますからね。そんなに变じゃありません、たぶん・・・。

いろは坂なんて比べ物にならない、くねくね道が永遠に続きます。窓がびっちり曇っていてまったく景色が見えないし、
どんどころなのか、あとどれくらい続きそうなのか、皆目わからない状況が続きます。



出発から約3時間後、突然バスが止まります。休憩らしい。酔ってる人も、健康な人も、我先にバスを降ります。

外国人観光客用に、とても清潔なトイレがあるレストラン・ホテルで休憩です。

隣の席の男の子を外に連れ出し、お茶をおごって飲ませます。トイレで顔も洗うように指示。
バスは30分くらい停まってました。天気はいいんだけどね、気分はブルーだよ・・・。



え〜っと・・・気を取り直したのは私だけだったようで・・・。みんな嘔吐再開。おとなりも再開。
わかりますかね？ノックダウンされてる坊や・・・→→→



約1時間で無事に（ワタシはね・・・）ワルザザードに到着。

インドとかのローカルバスを想像していただけに、とっても快適なバスでしたが、こんなにモロッコ人が車に弱いとは・・・ある意味驚愕です。坊やの親戚らしきお姉さんがやってきたので、お別れします。一緒に来た若いお兄さんが少し英語が出来て、坊主から事情を聞いたようでものすごいお礼を言われます。いえいえ・・・どういたしまして・・・。
でも写真撮るのは拒否された・・・も〜！魂抜きませんから！！

さて。まだお昼ですが、すでにクタクタに疲れ果ててるよワタシ。
マラケシュと違って、今度は人がぜんぜんいない。タクシーも見当たらない。
まったく、極端なんだよ！ 仕方ない。地図と格闘。歩いてホテルを目指しますか



Day-3-02

大変貴重な(?) ローカルバス体験を経てワルザザードに到着。マラケシュやカサブランカと違って、どうも静かだ……。ガイドブックの地図が頼りなのだが、CTMのバス停の位置がどうもおかしい。新しい場所か?? ん〜静かだ……。予約してあるホテルまですぐのようだけど、明日、世界遺産の「アイトベンハットウ」に行きたい。ガイドブックに、「日本人ガイドがいる」と書いてある旅行社へ行ってみるか。明日のツアーを確認しに行ってみよう! 街の大きさも掴みたいしね。

まったく静かで、タクシーがない。押し売りガイドもない……。広いねモロッコ、極端だよホント。トボトボ歩きます。高いモスクを目印に方向を掴む。

結構な距離を歩ききり、旅行会社クスール・ボヤージュに到着。<http://www.ksour-voyages.com/jp>

そうだ。昼は休憩じゃん……。まだモロッコ時間に慣れないワタシ。アホだわ。14:30〜再開らしいので、並びのカフェで休憩しながら待ちます。天気良すぎ〜。



基本、モロッコ(他の近隣諸国は未確認ですが)のカフェには、男性客しかいません。1度、外国人観光客のカップルを見たけど、それが唯一の女性でした。何をしてもなく、男子がカフェでミントティーやノス・ノス飲んでるわけです。「ノス・ノス」とは、アメリカンとエスプレッソの間くらいの濃さのコーヒーで、ミルク入り。砂糖がたくさん付いてきます。みんなたっぷり入れてましたね。

女子が一人でカフェで休憩は、ココではおかしい状況になっちゃうわけです。でも、ワタシはスモーカー。しかもカフェイン・ジャンキー。行かないわけにはイカン。いつも隅の席を確保。どう見ても外国人だから、地元の人は気にしないかも知れませんが。このカフェでも男子が入れ替わり立ち代りやってきては休憩です。

とりあえず待つてはみたものの、時間を過ぎても旅行社は開かず。きつと、みんなツアーに行っちゃってるのでしょうか……。

ここからホテルは街を縦断せねばです。西と東の端っこ同士。なんとか乗り合いタクシーをゲットしホテルへ。Hotel le Fint <http://www.finthotel.com/>

あら、またまたステキなところ。中庭がすてき。お部屋も広い! パスタブがあり、お湯もたっぷり出る〜出る〜出る〜。

ホテルで電話を借りて、旅行社に連絡。明日のait ben hatou・ツアーを申し込みます。日本語だったし、とっても親切でした。

ついでもう一件電話。こちらもガイドブックに載っていた、ワルザザードに住む日本人の方に電話。レストランもやっていて、モロッコを知ってもらうためホームステイも受け入れているらしい。なんだかお忙しそうでしたが、とりあえず明日の夜、レストランでの食事を予約。「親子丼とかにしますか?」と聞かれ驚愕。ちがうちがう。ワタシそういうタイプじゃありません。モロッコ料理をお願いしました。



明日の段取りも済み、お湯シャワーにも入り、バスの悪夢が薄れていきます。ホテルのそばに「芸術村」と有名な「カスバ」がある様子。行ってみます。芸術村、大当たり。じっくり見たかったベルベルの芸術的品々がいっぱい。しかも行政の息がかかっているのでも売り物は価格が大変適正。話も沢山聞けるし、手にとって見られます。いくつか気に入ったものを購入！



ここで得た知識をひとつ披露！日本まで持ち帰るといって、「お〜！」と驚き、梱包してくれたのですが、トイレットペーパーで・・・ぐるぐる巻いて・・・クッション代わり・・・。ココでは大変スタンダードな方法だそうです。水厳禁！ちぎれちゃいます、簡単に。



芸術村の目の前がタウリルトのカスバ。映画「シェルタリングスカイ」の撮影が行われたらしい。ここではさすがに、自称ガイド数名に攻め込まれましたが、振り切ります！ちょうどやってきたフランス語ガイド付きの高齢者団体ツアーに紛れてついていきます。さっそくガイドに鋭い視線を投げられ団体から分離。年齢がね・・・おかしすぎたね。



カスバが迷路のようになっていて、こんなに大きいなんて知らなかったんだよ……。中で迷子になるなんて思いもせず、自称ガイドも振り切っちゃったじゃん！すっかり迷子になっていると、てっぺん付近で若者地元民に遭遇。

迷子？と声をかけられお話してみると、なんと！ここに住んでるらしい！！住んでる人がいたんだ……。

団体が来たのが見えたので、いそいで電気をつけに来たらしい。なる～。

住人だからお金取らないよ、と笑顔で案内してくれた。

わりと新しいものと、100年はゆうに越える昔からそのままのものなど、細かく教えてくれながら、出口まで案内してくれました。助かった！ほんとにありがとう！！写真の木の扉は、150年オーバーの扉だそうです。シブイ！欲しい！！



あっさりワルザザード観光地終了！街の中心を偵察に。
世界中で遭遇するホテルアイビス。カッコイイネ！ここのは。

お～空がいい感じに。急げ、夕日を追いかけるのだ。
でも、歯医者のかわいい看板が気になったり、スークの中が
気になったり……。寄り道しすぎて夕日ベストショットに
は間に合わず。
赤く焼けるかな～と、近くのカフェの隅っこで待つが、
雲多すぎたね。すぐ月がでちゃった。



あ、ホテル夕食つきだったんだ！戻らねば。またブラブラと観察しながら徒歩移動。
レストランは貸切。ウェイターのおじさんに相手をしてもらいながらお食事。
ここのチキン、スパイスちょうど良くておいしかったな～。長距離バスの悪夢が
もうちょっと薄れるよう、ゆっくり風呂に入り就寝。あしたは世界遺産いくぞ！





モロッコ旅行記 Day-4-01

モロッコ4日目、元気に起床。朝日がキレイ。遠くのダムも光ってる。のんびり朝ごはんをいただきます。

どこでも出るこのジャム。最高にうまいのだ。予約しておいたツアーのガイドさんが車でホテルまで迎えに来てくれました。

楽しみにしていたアイト・ベン・ハッドゥへ出発。半日のガイドツアー。

ラッキーにも今日は私一人とのことで、プライベートツアーな感じです。

ツアー出発！車で15分も走ると景色が一変。あまりにも広い。遠くまで見えすぎて、遠近感が壊れます。たま〜に村がポツポツと。基本何もない。

開放感とはこのことでしょうか。しかしアンテナはちゃんとあります。川があって、村があって、そしてひたすら原野。電線ない。撮影にはもってこいね。ガイドさんも、お客一人だし時間は好きに使ってください！って感じで、写真撮りたいというと、停まってくれたりします。英語も完璧ガイドさん！ありがたい〜〜。



映画スタジオを通過。

入り口にこんなもの置いとくと台無しじゃない？



むむ！興味あります、あの看板。

車を停め、タバコ吸いながらしばし待ってみます。ガイドさんも「そのうち誰かくるんじゃない？」という感じ。ほんとだ、来たよ。ガイドさん、気さくに話しかけてお話をまとめてくれます。そうなの写真撮りたいのよ。ラクダさん撮れるなら、少々お支払いしてももちろんOKなのだ。交渉成立の模様。おじさんご挨拶。ゆっくりしていけと言われます。いやいや、ゆっくりはしませんよ。ラクダさんの写真とってたら、おじさん笑顔でワタシに接近。そしてあっという間に・・・



はい。偽ベルベル人の出来上がり！

頼んだっけな・・・？ でも楽しい♪

ありがとうおじさん。そんじゃ、ラクダにも乗っちゃおうか〜。

はい乗った！

そんじゃちょっと歩き回りますか〜と、

道の反対側へ。ラクダで車道横断。

ぶらぶらラクダ散歩。最近乗った馬より、

ちょっと高い気がする。でも揺れない。

楽しい♪ちょっと歩いただけで大満足。

車道横断して帰還。しばしラクダさんと戯れる。



ラクダ・ライドを満喫。そろそろと思ったら、
「あの～・・・ちょっと、もう少し・・・」とは、
ガイドさん。 ん????どうしました????

先祖代々ベルベル人のガイドさん、
なんと！ラクダ未経験だそうで。そんなのダメ！
乗りなさい！！もうワタシから命令です。
もちろんスカーフ巻きマキ。何事も格好から！
ジャンパーとジーンズなので、全身写真は親に
見せたくはないと言ってました（笑）
でも、100%ご機嫌です♪
「すいません、ワタシのデジカメでも・・・」。
はいはいもちろん。お撮りしますよ！首から上ね！
！ラクダにのってガイドさんも300%ご機嫌です♪



出発から約1時間半で、アイト・ベン・ハットゥに到着。
世界遺産登録されたから、橋も整備されたそうです。
去年完成したらしい。楽しみにしていたお土産屋街を抜け、中をめぐります。



しかし大きいな～。とても複雑に出来ている。全部が日干し煉瓦だなんてね、
すごい。頂上からは360度すばらしい景色。圧倒されます。



遠い遙か彼方の山々が見えます。あれが昨日バスで越えたところか・・・。
降りがてら土産店を覗こうとするも、ガイドさんが笑顔で通過してどんどん行って
しまいます。土産店に寄ろうと思うと伝えると、何か買いたいなら、彼らが仕入れ
ているところに行きましょうとのこと。
そうか。彼らは作っていないよね・・・仕入れてるのよね・・・。



いわゆる伝統工芸協会みたいところが車で10分くらいの所にあります。

陶器、銀製品、おなじみの織物（絨毯）などに分かれて、点在しています。お願いして、織物の協会に連れて行ってもらいました。

うれしい！織り機とかを見たかったのよ~~~~。使い方、糸の種類、織りの種類、たくさん教えてもらいました。

もちろん！いくつか気に入ったものも購入。街中や観光スポットのお店の人たちが買いに

来るところだけあって種類は充実。

値段の満足感より、職人の皆さんとの話が楽しかった！



道中何回か大きな川を渡りました。やっぱり川のそばに村は出来るものなのか？ガイドさんに聞いたら、

「まさか！増水したらどうするんだ。川に近く高いところに住んだ。便利だけど、川のそばはダメだ！」。だよね・・・。いろいろ考えさせられます。このあと、ちょっと遠回りして、別のカスバも見せてもらいました。



<カスバにて>

わたし：「ココも何人が住んでるかな？」

ガイド：「よくみて。パラボラある。住んでるね！」

ホントだね、お皿いっぱい・・・。



その後も、あちこち車で走っては寄り道しながら、ホテルまで送ってもらいツアー終了。

ガイドさんには時間いっぱいまでランチを抜いて案内してもらいました。

チップとして、ガイドさんにランチ代をお渡ししました。

楽しかった～お世話になりました。

モロッコ旅行記 Day-4-02

午前中のツアーから戻り、のんびり街へでかけます。CTMバスステーションに寄り、明日の朝のマラケシュ行きを予約。

8:30発の恐怖チケット入手。夕食を予約した、ワルザザードにお住まいのモリワケさんのお宅に行く時間までブラブラ。



なぜ同じ品揃えの店が隣同士なのか・・・



バイク屋ですが品揃えの幅は深い。三輪車からの品揃え



街中のハمام。入口のタイルの色ステキでした

「モリワケさん」の所は少し中心部から離れているようなので、タクシーを捜します。街の中心で捕まえて、モリワケさん宅への目印であるホテルの名前を告げると、どうも、途中でタクシーを乗り換えろと言ってる様子。ん？そんな遠いのか？とにかくエリアが違らしく、タクシーの種類が違らしい。乗り換え所まで乗せていくとのこと（らしい）。

長い会話の果て、とりあえず乗り込みます。

出発してすぐ、パンク。

乗客みんなで新たなタクシーを捕まえ、とりあえず再乗車。乗り換えタクシー場まで行きました。そして別エリアタクシーをGETしましたが、満員にならない限り出発はしません。ひたすら待つ。だれか来て、満員まで待つわけです。ファミリーが来た！同じ方向らしくラッキーです。でも、ちょっと多すぎた。



助手席に3名。後部座席に4名。超満員。

距離はたいした事ありませんでしたが、川を越えて違う村に着きました。

料金3DH、安いね乗り合い。

昨日予約の電話したとき、「近い目印ホテルまで来て、日本人の家と言えみんな場所知ってるからわかるでしょう」との事でしたので。言われたとおり、とりあえず聞き込み。確かに「あ～～日本人ね」と、みんな知ってる様子でしたが、「ホテルの脇を入ったあたり」という感じの案内のみ。



とりあえず脇道に入って行ってみますが、特にサインとかも見当たらないし、すれ違う人に聞いても「その辺よ！」という感じで、あっさり知らん顔されます。

一度教えてくれた子供をつかまえ、もう一度聞く。そして、手を引き連行。

ふふふ、うまくいった！

着きましたが、おうちにまったく目印なし。モリワケさん、これじゃクイズですよ！モリワケさんはご不在でしたが、モロッコ人のお姉さんと、娘さんと息子さんがいらっしゃいました。



お願いしておいた夕食の料理をまちながら、お菓子とお茶を頂きます。
すると近所のおばさま方登場。みんな、結構な大声でいっせいに会話スタート。
一緒にお茶とお菓子をいただきます。

100%アラビア語ですので理解不能。

ほんとに結構な大声だし、二人くらいいっぺんにしゃべる。にぎやかだ。
パンを作ったときに手が痛くなった事や、塩が固まってるので砕くつらさ、
ほか近所のお店で買った品物についてとか・・・そんな日常を話してる様子。
全部ジェスチャーからの妄想ですが。

そうか！ここで気づきました。

カフェには行かないのだよ、女性は。

こうやってキッチンで話すんだよきっと！



手作りパンとタジン鍋をいただきました。めっちゃおいしい！ご馳走様でした。
この日はアフリカネーションズカップのモロッコVSガボンがあるはず。息子さんに言うと、
自分はどこかに見に行くとの事。なるほど、カフェか・・・。
一緒に行こうかと悩んでいると、娘さんがおもむろにテレビチャンネルを変更。
私は一瞬でテレビに釘付けに。なんとアラビック・アイドル！！！！！！
どうしても観ることをやめられない、あのアメリカン・アイドルのアラブ版。
英語を少し話す娘さんと盛り上がります！司会者カッコイイとか、
何番がヘタとか。サッカーどころじゃない！！



私のホテルのある隣り村まで戻るエリアタクシーは、早くに終わってしまうらしいので、番組途中でやむなく退散。
娘さんと記念写真を撮り、FBアドレス交換。またね！モリワケさんHP <http://moriwake.web.fc2.com/> ホームステイできますよ～。
教えてもらったエリアタクシー乗り場まで行ってみると、タクシーは1台。お客さんが1名。はいはい。待ちますよ～集まるまで。
待っていた先客さんは、マラケシュ在住でベトナム出身のおじさん。英語がべらべら。話をしながらのんびり待ちます。
BBC制作のビデオ撮影のためにマラケシュから来たとの事。撮影の話でしばし盛り上がります。明日朝、バスでマラケシュへ
帰るらしい。ん！同じバスです、わたしも！
同乗するお客さんを待つことなんと40分・・・。乗り場前にあったカフェのテレビで、チラチラとサッカー見ながら待ちました。

ドライバーも3人集まったところであきらめ、中心街のタクシー乗り換え広場まで移動。おじさん、明日の朝会いましょ～！
とお別れします。急いで帰れば、ホテルの部屋で後半が見れるかも！

間に合ったのですが、フロントのおじさんも警備の方も、ロビーでサッカーに夢中です。
鍵もらえない・・・。もうちょっとで終わるという感じのジェスチャーで放置されます。
む～～部屋で一服しながら見たいんだよ！！懇願。1-0でリードしていたモロッコで
すが、なんと後半67分にガボンに同点にされ、あっという間に追加点も入れられて逆転。
ここでやっとおじさんが動いてくれました。気まずい空気が漂うロビーから部屋へ退散。
さて。明日はマラケシュへ戻ります。悪夢のバス再トライなわけです。心と体の準備が必要。
コーヒーを頼み、ゆっくり風呂に入り、早めに就寝。



モロッコ旅行記 Day-5

モロッコ旅行記 Day-5

早くもモロッコ一人旅はあと2日。なんとか雰囲気慣れてきたんだけどね。
明日にはパリに戻るのだ。グッズを買いすぎて、エキストラ鞄を調達。



このまま日本まで持ち帰るつもりですが、何か？

8:30AMのマラケシュ行きの悪夢バスに乗ります。

バス停には結構な人が。また満員っぽ。

昨夜タクシーを乗り合わせたおじさんいました！出演した「Rise to Power」
主役の方も一緒に、紹介していただきました。なんとメインのジーザス役！
左がマラケシュ在住・ベトナム人おじさん。右が主役のカサブランカ在住の方！



バスは1時間半遅れてやってきました。

今度は表示がわかりやすい！

マラケシュ経由のカサブランカ行きなようです。



車内に乗り込みます。隣は女性。

英語NGでしたが、ジェスチャーであいさつ。

運よく座席は前から2列目の窓側。

前がよく見える！さて。死のロード出発です。



走り出して約1時間。前回と同じ場所で休憩。山越え前に
休憩です。ここにつくまでは特に車内に変化なし。
なかなかのスタートです。

近所のお肉屋さんではダイナミックに頭も売ってます。

早い時間だからか、おとといより人がたくさん。

休憩も短くて15分くらい。いざ山越えへ！



窓側だったし、景色が見えます！！雪だらけ~~~~！！



こんな道ですが、大型の車がバンバン通ります。前が見えるだけに怖い。



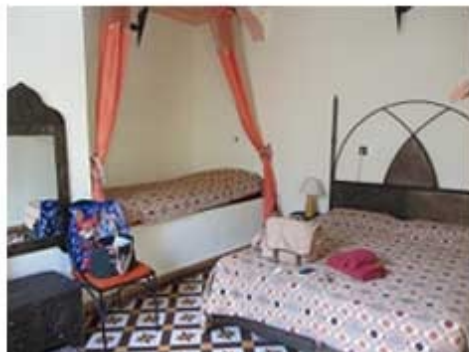
あらら！バスが・・・・。けが人はいない様子。



すごい道通ってたのね。とてもとてもラッキー！お隣はぜんぜん大丈夫な様子。酔ってない！もちろん、車内は往路と同じ状況。7～8割は車酔い。嘔吐ノイズは断続的に・・・。

モロッコ旅行記 Day-5

約4時間でマラケシュに到着です。今夜の宿からは事前にメールがあったので、バス停からの送迎をお願いしていました。迷子のプロ、成長です！
ですが、バスが2時間近く遅れて到着したので、お迎えの姿は見当たらず、公衆電話から連絡。すぐに来てくれるとのこと。ノス・ノスのんで待ちます。



この日の宿は、前回の宿より少し小さめのリヤド「RIAD JOMANA」。案内されたお部屋は2F。シャワーもトイレも別だけど同じフロアにあって、2Fは1部屋のみなのである意味占有なんです。ダブルとシングルのベッドがあるお部屋。ファミリーでも十分泊まります。フランス人のオジサンお二人で経営されてるとか。中庭ステキです。

今日でマラケシュは最後。買い物に出かけます。このあいだチェックしておいた伝統工芸館へ。今回のリヤドからは徒歩15分くらい。またまた勝手な目印を見つけながら移動です。





工芸館堪能。職人さんたちとの楽しい会話。お土産もまとめて調達し、大満足！

ふらふらしていると、なんか賑やかな広場を発見。バンドもありました。ゴスペルみたいな感じ。盛り上がってます。



トラック改造してお茶振舞ってます・・・。
テレビモニターもあるし、発想大胆です。

帽子はサンタに借りたのでしょうか。

最後はやっぱりフナ広場へ。もう迷子にはなりません。
遠回りしながら広場を目指します。
！やっと撮れた！ 本当にカフェのお客は男性オンリーなんです！！



パラボラ、さすがに大きすぎませんか？

広場でジュースと、最後になると思われる名物スープを屋台で堪能。
飲み食いしてお金を落とせば、いい写真撮れたりするわけです。。。。



このあいだ見つけたカフェに行くと、覚えていてくれた！
今回も手を乾燥させつつ、ノス・ノス。広場は、もちろん今日もすごい人。
パワーに圧倒されます。



再トライしたら
勝手に両手やられた。。。。



遠くにモスクも見えました。月、キレイ～！

迷子になり続けた旅。とうとう終わりが近い。
ちょっと短すぎたね。
ともに旅したクマも、迷子の日々を思い返しているようです。
明日にはカサブランカに寄り道して、パリへ戻ります。



モロッコ旅行記最終回 Day-06

とうとう6日目、モロッコ最終日。パリまでの移動デー。

朝起きて、夜23時にパリに着くまで長い一日になることを思い出しました・・・。

朝食をとり、リヤドで手配してもらったタクシーでマラケシュ駅へ。

駅で9時のカサブランカ行きをゲット。

駅前にはモロッコではちょっと珍しく思った光景が。

たくさんのマラソンランナーが終結してました。



驚くことに、電車が時間通りに来ました。

一回乗ってますから学習してます。車内販売の乾燥カピカピ・サンドイッチはパスしました！

帰ってきたカサブランカ！乗車時間は約3時間半。

マラケシュ&ワルザザードで買い物しすぎて荷物がおい。

この荷物持って市内観光するほどの元気は残っていませんでした。

もう一度モスクを見るには時間が足りないのもわかってるし。

ということで、駅近所の大型スーパー「Acima」にトライ。

地図によればそんなに遠くないはず。この間迷っただけあって、自力・徒歩で到着！

スーパーでつかい！！こりゃ楽しい〜満喫。



マラケシュ屋台で食べた名物スー

「ハリラ」の素も見つけて購入。

私はどこに旅してもスーパーでお土産探すことが多い。

ローカルな品物は観光スポットのお土産ではなく、

町のスーパーにあるのだ。昔は、その土地ごとに

案外特色が出る歯磨き粉とかをよく買ってたな〜。

欧州ならエスプレッソ用のコーヒー粉とか、イギリスならパンに塗るマーマイトとか！

日本の輸入扱うスーパーでも購入できるけど、値段が違いすぎますから。

最後に駅そばで、のんびりネコちゃんとノス・ノス。さようならカサブランカ！



空港行きを待っていたら、貨物みたいな電車が来た。写真だとわかりづらいけど・・・すっつつつ長い長さ！
空港行きの電車ではかわいい女の子と合席に。



空港でチェックイン前に見つけた便利屋さん。これ、ほんとに便利なんだよ！！
ものすごく上手いし！ちゃんと取っ手を出してくれている。
パラオに住んでいたとき、よくクーラーボックスをこんな風にラップして出国してるローカルがいたな・・・。



モロッコ通貨のDH(ディラハム)は、国外持ち出し禁止です。両替してから出国しましょう！
出国手続きを済ませて、中のおみせを一回り。そしてまた買い足し。どんだけ買うのわたし・・・。
コインで買える程度の買い物はDHでもできちゃいましたが、通貨を持ち出せないのだから、出国後の買い物はクレジットカードやユーロなどの外貨のみOKです。



飛んだらちょうど夜景が撮れました！モスクが見えた！！
今日、最後に見に行くことができなかったカサブランカのハッサン2世モスクが見えたのだ！！
ほんとに海沿いに建ってるんだ～。写真でわかるかな・・・。
さよなら、さよならモロッコ~~~~。

パリの空港に着いたのは23時すぎ。まだ電車あってよかった～。

電車を乗り継ぎオリンピック駅まで移動。

ホテルにチェックインしたときは24時半。

今日も長かった！！

例のラップしたカバン、

ちゃ～んと壊れず届いたのです。

パリ移動のときもそのままにしました！

便利だったな。



こちら機内食。当然ですがNo Pork。



なんとなく気になっていたモロッコ。

思いつきで、一人で、しかも短期間で充実した旅にするには、心構えが足りなかったかも・・・。

できればゆっくり東エリアも行きたかった。フェズとかもさ。

欲を言えばキリがないですが、欲を出したくなるほど楽しかった！

もう一度行きたいという気にさせられる、とっても魅惑的なところでした！

